

(全4事業、団体名五十音順) 2025年1月現在				
団体名	所在地	申請事業名	対象地域	事業概要
一般社団法人 スポーツ・オブ・ハート	東京都	日本全国ダイバーシティ活動普及事業	北海道 東北 関東 中部 関西 中国 九州 沖縄 8地域	<p>前提)スポーツ・オブ・ハートは大阪万博協会と共同で機運醸成のための万博ダイバーシティ駅伝47を47都道府県で開催を目標に準備中です。このダイバーシティ駅伝は今回の休眠預金資金支援の対象外であり、別途スポンサー等の資金で開催されます。ダイバーシティ駅伝の代表的な地域都市8都市において、日本全国にダイバーシティ活動を広げるための下記の事業を実施します。</p> <p>1)8都市各3万人参加を目標とするダイバーシティ駅伝内でダイバーシティ活動小学生コーナーを用意(全体紹介ダイバーシティ活動)</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ、音楽、アート・ファッションの3テーマでダイバーシティ活動の啓蒙活動を小学生向けに実施※ 3万人は10数年にわたる実績数値 <p>2)全体紹介活動を受け、8都市の小学校から各テーマでモデル校を選び授業枠を用いてダイバーシティ活動を年間継続</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ、音楽、アート・ファッションを個別の活動として展開・各月での開催を目標とし開催※スポーツ・オブ・ハートでは東京、大分双方にて授業日に複数の小学校を訪問し出張授業実施実績あり行政(教育委員会)との連携実績も行っており、内容的に協力を得やすいことは実証済み <p>3)8都市において、ダイバーシティ活動に参加するともらえるダイバーシティポイントを導入</p> <ul style="list-style-type: none">・ダイバーシティポイントを貯める喜びを活動参加のモチベーションとして利用(ゲーミフィケーションによる参加率向上)・ダイバーシティポイントは後に地方ポイントとして利用を可能とし、地方活性化へ※ポイントシステムはコストのかからない第3社製品を導入。ポイントに関わるコストは一切休眠預金資金は利用しない。(管理人件費のみ)最新IT技術を活用したプラットフォームを利用し、地方自治体、当団体関係者に一切のコスト負担がないポイントを実現。
特定非営利活動法人 フードバンク愛知	愛知県	フードバンク スマイルプロジェクト	全国	<p>経済的困窮しているひとり親家庭を支援するためには、経済的支援、就労支援、子育て支援、教育支援、心理的支援、生活支援など、様々なアプローチが必要ですが、政府や自治体、NPO、民間企業が連携し、多角的に支援することで、ひとり親家庭が安定した生活を送ることができるよう努めなければなりません。弊団体はフードバンク団体であり生活に必要な食料品や日用品を無償で提供します。これはNPOや地域団体が主導して行われている場合が多く、ひとり親家庭が利用できるようになっていますが、昨今のフードバンクや地域団体への寄贈品が著しく減少しており、各家庭が置かれた状況やニーズに応じた、きめ細やかな支援がこれまで以上に求められています。よって、弊団体と連携のある全国・地域団体へ資金支援を実施したいと考えます。それらの団体の特性を踏まえつつ、課題解決を伴走して行きます。行政データの活用、学校や地域コミュニティとの連携、福祉機関やNPOとの協力、デジタル技術の活用、そして広報活動や地域イベントの開催など、複数のアプローチを組み合わせることが重要と考え、支援が行き届いていない家庭を可能な限り特定し、必要なサポートを提供することが可能となります。経済的困窮など家庭内に課題を抱えることも達を支援することに同調する連携登録団体へ公募申請を行い、団体ごとの活動内容・手法などを厳格かつ公平に審査し、事業対象者3,600人を目標とします。</p>
認定特定非営利活動法人 富士山クラブ	山梨県	悩みや困難を抱えた子どもと家族のための地域連携支援プログラム ～多様な連携でウェルビーイングな地域の実現を目指して～	山梨県	<p>【事業の目的】様々な分野で悩みや困難を抱えながらも、必要な支援や支援そのものが届いていない、山梨県内に暮らす子どもとその家族を対象に、つながり、つながり続ける事業である。2023年度に7実行団体が取り組んできた事業の現場での実績、成果をベースに、そこで生まれた多様な連携関係を前進させ、多様な主体が動き、支援対象者につながり、つながり続けることができるしくみづくりをさらに進め、支援対象者の困難な状態が改善され、地域のウェルビーイング向上をめざしていく。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・アウトリーチでより多くの支援対象者へつながる支援が届いていない、さまざまな状況(孤立・孤独、制度のはざまなど)から支援へつながっていない子どもたちやその家族を地域で発見、必要な支援につなげ、地域に働きかけ地域で支えあう、アウトリーチに力をいれた活動を実施する。・連携活用で支援プログラムの充実と横展開を目指す他団体や複数機関と連携協働し、資源や知見を共有・活用、重層的、複合的に支援できる活動を生み出す。休眠預金活用事業等で、先進・優良活動プログラムを、山梨県の地域特性を鑑みながら、学び、応用、取り入れ、支援プログラムを組み立て、実行していく。・ソーシャルセクターの担い手(団体)の育成と実践を支援地域で支援活動を始動しているグループ(3人以上、助成事業を担当構成メンバー男女若者のジェンダーバランスがとれていること)の組織・財政基盤、活動(事業)運営・改善を伴走支援し、子どもや子育て支援分野での自律・自立した活動ができる、支援活動の担い手を増やし、支援対象者への支援の量と質を底上げしていく。・ソーシャルセクターの担い手(団体)を支援できる人材育成としくみづくり地域で起きている(これから起こりうる)問題を見つけ、その課題解決に取り組む担い手の活動を支援できる人材育成と地域コミュニティ支援の環境を整備していく。 <p>【事業の目標】</p> <p>支援対象者をつながり、支援者につながり続けることによって、その地域で暮らす支援対象者の意識向上、生活改善、社会参加を促し、困難状態の改善がみられるようになること。活動団体の交流、学びあい、協働を通じて、民間団体の連携・連帯が生まれ、支援対象者へ様々な支援ニーズに対応できる民間団体や支援の担い手が増え、支援を必要としている人に、より充足した支援を届けられるようになること。実行団体の活動によってつながりが生まれ、つながりつづけることができるしくみが地域コミュニティにうまれること。</p>
一般社団法人 マザーアース	大阪府	全国の子育て支援事業団体への助成事業	全国	<p>当団体は、経済的・社会的な要因により苦しむ子供、若者、子育て家庭に対し、「子育て支援」、「自律支援」、「地域コミュニティの活性化」を通して包括的かつ継続的な支援を行っています。</p> <p>「子育て支援」では、主に母親が一人で家事や育児を担うワンオペ育児によって、産後に母親が経験する孤立に対し、血縁の垣根を越えてみんなが育児に参加する居場所づくりやオンラインを利用した育児ネットワークの構築を支援します。</p> <p>「自律支援」では、不登校など様々な理由で居場所を失い孤立した子供、若者に対し、習うのではなく、自らが学び身につけることの面白さに気付かせる教育をコンセプトに、フリースクールをはじめとする学びの場づくりのノウハウを提供すること、また、女性の社会参画を独自のプログラムにより支援します。</p> <p>「地域コミュニティの活性化」では、空き家を地域コミュニティの活動拠点として再活用することや耕作放棄地を自然農法により再利用するための方法を学ぶ研修を実施すること、また、地域コミュニティの立ち上げも支援し、自律分散型地域コミュニティモデルを提案します。</p> <p>その目指すところは、地域コミュニティの復活であり、孤立した子供、若者、子育て家庭を地域住民が支え合う仕組みが形成されることで、持続可能な社会の実現に向けた一歩を踏み出すことにあります。</p>

※各団体の申請書類より作成。